

平成 28 年 7 月 5 日 (火)

## 新人研修 (一次救命処置)

徳島文理大学研修室において新人看護師 18 名、インストラクター 3 名、教育委員 3 名で一次救命処置について研修をおこないました。院外での研修は今年で 3 回目であり、BLS、シナリオ患者への対応、気管内挿管の準備、介助、振り返りと有意義な研修になりました。他施設での研修ならではの「連携、協働、報告、連絡、相談」の経験ができたと思います。指導者たちも新人看護師とともに充実した一日でした。

### 研修風景



インストラクターたちは丁寧に指導します





## <新人看護師の報告書より>

- ✚ 今まで一次救命については看護学校や自動車の教習などでも体験したことがあったが、今回の研修でより詳しく、専門性のある内容を学ぶことが出来て良い経験が出来たと思う。これから先、自分がいつ一次救命を行うことになるかは誰にも予測できないことなので、今回学んだことを常に念頭において、いつでも速やかに実践できるように準備しておく必要があると感じた。
- ✚ 全体を通して、実際のシチュエーションをイメージしながら行うことで、優先すべきことの確認ができたとともに、自分がいかに無知であり、慌てやすい性格であるかという点について認識することが出来た。実際の現場では自分は素早い判断と行動ができないと考えるため、今回の学びを繰り返し復習して、身体で覚えるよう身につける必要があると考えた。
- ✚ BLS では、自分が行っていることを声に出しておこなうことで自分が何をすべきかわかり、周りも動きやすいので声をだしながら行うとよいと学んだ。経時的に記録を行うことが必要であり、医師へ報告する時の経時的に伝えるとわかりやすくなる一つ一つポイントを押さえて練習ができたのでとてもわかりやすかった。
- ✚ 夜勤業務の開始時期にとっても有意義な研修になった。イメージトレーニングで訓練しておくことは現場で慌てないためにとっても重要だと思う。急変時にスムーズに対応できるように今後も機会があれば BLS の研修に参加しようと思った。
- ✚ 今までは緊急の場面では自分もその役割を持ちたいという気持ちが強くでてしまい、周りのことをあまりみることができていなかったと感じました。今回、役割を果たすためにも周りをよく見ることと、コミュニケーションをとることが大切であると知りました。

など、多くの学びがあり、いい研修ができたようです。お疲れ様でした。

次回は緩和ケアを受ける患者の理解・看取りの看護・六ヶ月フォローアップ研修です！！